

# 桃井第二小学校西校舎その他解体工事説明会説明会議事録（要旨）

## ○開催日時・会場

平成 28 年 12 月 26 日（月） 19 時～20 時 30 分  
桃井第二小学校ランチルーム

## ○出席者

近隣住民等 29 名  
学校整備課長  
施設整備担当課長  
株式会社 NIKKO  
株式会社綜企画設計

## ○議事

### 1. 区職員・解体業者・設計担当者紹介、挨拶

### 2. 概要説明（別紙資料参照）

配布資料に掲載のない部分に関する説明を行った。

- ・東門から出入りする車両については、事前に日時台数などを近隣に周知のうえ了解を得て行います。
- ・プール東側の白旗桜は伐採致します。
- ・体育館及びプール解体時には善福寺川管理通路を一時的に（平成 29 年 1 月～3 月頃の期間を予定）通行止めさせていただきます。

### 3. 質疑応答（要約）

【凡例】 Q…質問、要望など A…回答及び説明

Q：既存プールの杭を残置するとのことですが、今後、新校舎を支持するのですか。  
また、杭の素材が金属製の場合、腐食などが心配です。

A：既存の杭は新校舎には用いません。新規の杭施工の障害となるものだけを新築工事にて撤去し、それ以外は残置します。既存杭はコンクリート製で、金属ではないので腐食の心配はありません。

Q：騒音振動計はどこに設置しますか。また、規制値を超えた場合のクレーム先はどこですか。

A：外から見える位置に設置しますが、詳細については今後検討いたします。規制値は

1時間以上、騒音 85dB、振動 75dB を続けてはいけないというものです。ただし、規制値と近隣の方々の感じ方には違いがありますので、クレームがある場合は対応を検討致します。何かありましたら現場事務所までご連絡をお願いします。

Q：杭を抜かない場合、地盤の強度はどのように考えていますか。

A：杭を撤去して砂やセメントを詰めると逆に地盤が緩むことがあり、地盤を乱さず安定させたままにするために残置します。

Q：荻窪橋はダンプが通るだけで揺れますが、解体工事で振動が増幅しないかが心配です。

A：コンクリート解体のがれきを地面に敷いて作業をすることで、振動を軽減させるというような手法を用いて解体をします。

Q：現在、登校時に西校舎へ入るのに子どもが並んでいます。解体時はどうなりますか。

A：西校舎解体時は、東門からの登下校動線を主に考えております。学校運営上必要であれば北門を一部開放するという対応も検討しております。

Q：西側の道路は一般車も含め車両通行が多いですが、通行止めなどの対策はするのですか。また、門を移動する場合などは、早めに近隣に周知してください。

A：本工事の車両は西側道路や北側道路は利用致しません。  
校門の変更に関する近隣へのお知らせについては、別途検討いたします。

Q：西門周辺のはつり工事の騒音がひどかったのですが、今後、同じような小規模の準備工事を予定していますか。

A：今後、西門周辺での小規模な工事は予定しておりません。別途、大規模な工事の際には事前に周知致します。

Q：杭を残置するに伴い、校庭を高くすると周辺の地域がスリバチ状になりませんか。

Q：2005年の豪雨時には、低い場所へ多量の水が流れて川のようになっていたが、そのような状態を想定しているのですか。

A：校舎の床レベルは高くしますが、校庭は既存歩道と同程度の高さとししますので、現状以上に敷地外に水が流れるようなことはありません。

Q：雨水を貯留するピットが既存プールと重なる部分の杭は抜かなくてよいのですか。

A：プール位置に重なる校舎の地下ピットの部分については、杭を全て抜く必要性は感じていませんが、ピット施工の障害となる杭は杭頭のみ解体を致します。ただし、杭抜きはしませんので、それによる振動は発生しません。

Q：雨水貯留槽の埋め戻しは何で行いますか。

A：良質土で埋め戻す予定です。

Q：今回の杭頭解体の深さはどのくらいですか。それに伴う振動はどの程度でしょうか。

A：深い部分でも GL-1.5m 程度です。杭及び基礎の解体は、圧砕機によって解体するため低振動工事の配慮をしています。

Q：新校舎建設（ピットの建設）に必要な部分は今回、杭頭解体をする 0.8m だけですか。新校舎建設の際には別途、杭頭解体などを行う必要があるということですか。

A：今回の杭頭解体については、他の杭と高さをそろえるために杭頭 0.8m を解体するものです。新校舎建設時には別途、ピットの建設の障害となる部分の杭頭解体を致します。

Q：家屋調査のチラシが入っていましたが、どのようなことをするのですか。また、複数工事があるそうですが、この家屋調査は今回のためのものですか。

A：家屋の外部については亀裂の有無などの確認写真を撮ります。

内部調査の対象となる家屋については、プライバシー等の問題も考慮しながら、写真記録などをさせていただきます。

今回の家屋調査はこの解体工事のための事前調査であり、本工事終了後に事後調査を行います。

Q：家屋の亀裂について、解体工事ではなく地震などの影響と判断できますか。

A：家屋調査会社もプロですので、地震による亀裂かどうかは判断できるかと思えます。

Q：西校舎解体はいつからですか。また、北校舎解体はいつからですか。

A：西校舎は平成 29 年 4 月から解体します。北校舎は仮設校舎と一体として運営したのち、新築校舎が完成した後、平成 32 年に解体する予定です。

Q：仮設体育館建設の際に、西校舎と接続する部分のはつり工事の騒音・振動がひどかったのですが、本工事ではそのようなことはないようにしていただきたいです。

A：非常に局所的な工事でハンドブレイカーという機材を使用したため、騒音が出てしまったことは申し訳ございません。本工事はブレイカーを利用しませんので、そのような騒音は生じません。

Q：今まで開催された説明会でも多くの質疑回答がありましたが、内容について公開していますか。今後はそのような体制をとるべきかと思えます。

A：今後の工事説明会についても、公開する方向で検討いたします。

Q: 現在までの工事について、子ども達がどう感じているか聞き取り調査はしましたか。

A: 学校から児童の順応状況を聞いているため、聞き取り調査は行っておりません。

Q: 杉並区による学校建設工事において、子どもの関わる事故などはありましたか。

A: そうした事例はございません。

Q: 本日の説明会の周知範囲を教えてください。

A: 近接する周辺 270 戸程度にお知らせを配布しております。

Q: 説明会の日程についてももう少し早めに周知してください。また、毎回受付において氏名・住所を記入しているので、今までの説明会参加者には開催お知らせを郵送して貰えませんか。

A: 受付の記帳は、後日、説明会に参加されていない方へ資料をポスティングする際に二重配布にならないよう用いるためのものですので、ご理解下さい。

Q: 東門について解体工事では利用しないというような事前周知がありましたが、なぜ本工事では東門を一時的に利用するようになっているのか説明して下さい。

A: 杉並区役所及び設計からはそのように話を受けていましたが、4月10日には校庭を使えるように工事スケジュールを考えると、環八門完成に先んじて体育館内部解体のための重機等を搬入しておいた方が、工期的に無理がないうえ、体育館解体を環八側に寄せられるので東側近隣への影響低減にもなるということで施工者から依頼したものです。